長良天神神社

岐阜市長良 1972-1　☎(058)231-7703

初天神　一月二十五日

菅公十五歳の元服式の時、母君は前途を祝福し「久方の月の桂も折るばかり　家の風をも吹かせてしがな」の和歌を与えて励まされました「桂を折る」というのは、文章生の試験に合格することで、学者の家門を継ぐ吾が子の教育にひたむきな〝母ごころ〟が滲み出ている秀歌といえます。その親心にこたえ見事に最年少で合格されました。

菅公御生誕の二十五日を縁日と崇め特に年頭の二十五日を初天神と称えて学問・文人・歌道・書道・芸能に携わる人が、大切な祭日として深く信仰されています。

○学業成就合格祈願祭　午後二時 執行

祈禱初穂料　五千円也

御札、御守、絵馬、鉛筆、御供物を授与致します。

◇学業成就合格祈願　随時執行

祈禱別　初穂料

一、当日祈祷　お申込の翌朝と受験日当日朝執行　二千円

一、期間祈祷　お申込の翌朝とご指定期間内毎朝執行と受験日当日朝執行

一ヶ月　三千円、二ヶ月　五千円、三ヶ月　七千円、半年　一万円

御札、御守、御供物を授与致します。

一、昇殿祈祷　五千円以上（当日祈祷付）

一、昇殿祈祷と期間祈祷

一ヶ月　六千円、二ヶ月　八千円、三ヶ月　一万円

御札、御守、絵馬、鉛筆、御供物を授与致します。

き……り……取……り……線

学業成就祈禱申込書

ふりがな	
住所	
ふりがな	
氏名	
生年月日	年　月　日生　男　女
祈祷別	一、昇殿祈祷　一、当日祈祷　一、期間祈祷　ヶ月
校	月　日
受験日	月　日
受験日	月　日
学業成就祈祷期間	年　月　日～　年　月　日迄

受付にご提出下さい

節分祭　二月二日

○厄　除（星祭）

厄年とは人生節目の年（数え年）を忌み慎むと云う民俗信仰です。一般に重じられている年齢は次の通りです。

男　二十五・四十二・六十一（前後の年を前厄後厄と云う）

女　十九・三十三・三十七（前後の年を前厄後厄と云う）

男女共通　七・十三

○星祭厄年

星祭の厄年は、毎年の九星方位で、自分の生まれ星の位置により注意が必要な年回りをいいます。自分の生まれ星が、中央に位置する年が「八方ふさがり」といわれ八方除けに該当し次の通りです。

九・十八・二十七・三十六・四十五・五十四・六十三・七十二。

更に北東「表鬼門」・南西「裏鬼門」・北に廻った年が星祭の厄年に該当し次の通りです。

三・四・六・十二・十三・十五・二十一・二十二・二十四・三十

三十一・三十三・三十九・四十・四十二・四十八・四十九・五十一

五十七・五十八・六十・六十六・六十七・七十五・七十六・七十八。

尚、一年中の平安を祈る事も厄祓の信仰となっています。

祈禱初穂料　厄除祈願　五千円也

家内安全　六千円也

御祈禱のお方には除災招福お守、福豆、厄除破魔矢等を授与します。

○追儺神事　福豆まき　福餅まき　午後四時

お餅をまきませんか。

福餅まきの「儺追役」御希望の方は一月末日迄に社務所まで、お申し込み下さい。

厄年の方にお奨めします。

「儺追役」　初穂料　金一万円也

（福枡・福餅・破魔矢・御守授与）

き……り……取……り……線

御祈禱申込書

ふりがな	
御住所	
ふりがな	
氏名	
生年月日	年　月　日生　才

受付にご提出下さい

勧学祭　三月二十五日

○入園・入学祈願　午後二時 執行

小学校や幼稚園に入って、いよいよ勉学に励まれる御子供さんの学業成就をお祈り下さい。

祈禱初穂料　金五千円也

（学業成就・交通安全のお守り袋と記念品を授与いたします。）

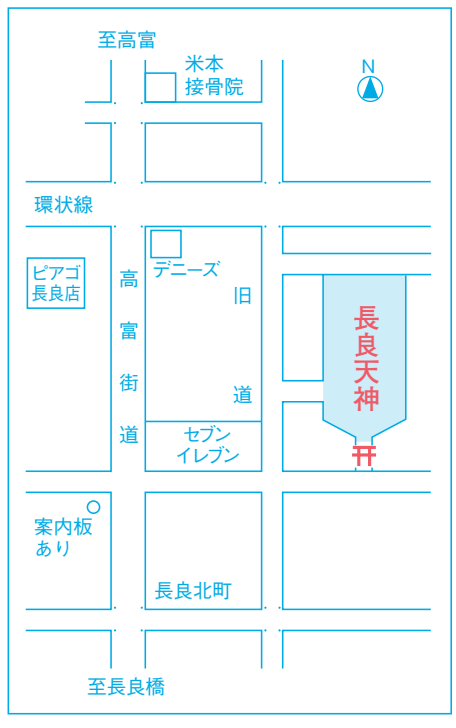
○歌道献詠行事　午前十一時 執行

短歌・俳句・川柳・狂俳・俚謡献詠希望の方は、二月十五日迄に社務所まで御出し下さい。

献題　「高」にて各部門共通。

一部門三歌まで　献詠初穂料一部門　一、〇〇〇円

（献詠の方には、歌集を差上げます。）



き……り……取……り……線

勧学祭祈禱申込書

ふりがな	
御住所	
ふりがな	
入園・入学・進学氏名	学年
園・校名	

受付にご提出下さい